

日産車体株式会社 個人投資家向け会社説明資料

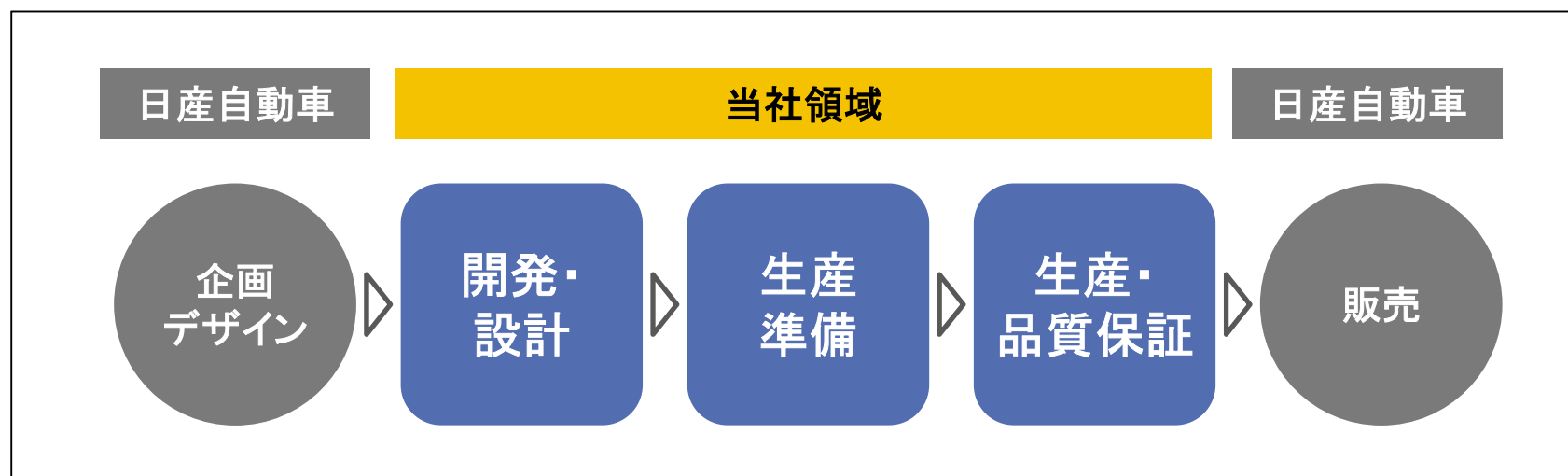


2015年5月

Outline



日産車体は、
開発から生産までを担う完成車メーカーです



日産グループの中で「LCV・MPV」の分野を中心に、
グローバルに活躍する完成車メーカーとして事業を展開しています

LCV: Light Commercial Vehicleの略。小型商用車

MPV: Multi Purpose Vehicleの略。多目的乗用車という意味でミニバンやSUVの総称

グループのご紹介

日産車体グループ



湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,942名	885名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2015年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニュファクチャリング株式会社

- ▶ 日産車体のプレス部品の製造

日産車体エンジニアリング株式会社

- ▶ 日産車体および日産車体九州の設備保全と物流



株式会社 オートワークス京都

- ▶ マイクロバスとトラックの製造と特装車の架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ 情報システム構築、ネットワーク構築などのIT関連サービス



株式会社 プロスタッフ

- ▶ 人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング

グループのご紹介

沿革

2010年に日産車体九州の新工場が稼働開始。
2014年には湘南地区の再編を完了。

年 月	社 歴
2015年	1月、車両生産を終了した湘南工場第1地区の土地売却
2014年	3月、新本社を第2地区に竣工・湘南再編完了
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2011年	当社が開発した「NV200」がニューヨーク市の次世代タクシーに選定
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立／生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1969年	フェアレディZ生産開始
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立



▶ 高級ブランド「インフィニティ」を生産
(日産車体九州)



インフィニティ QX80

▶ LCVでグローバル展開をリード



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバンで現在の基礎を構築



▶ 日産車体のルーツを作ったフェアレディZ



グループのご紹介

主な生産車



湘南工場



NV200
VANETTE
NV200 バネット



AD/AD EXPERT
AD/AD エキスパート



WINGROAD
ウイングロード



PATROL
パトロール:Y61



PATROL PICKUP
パトロール ピックアップ

日産車体九州



Infiniti QX80
インフィニティ QX80



PATROL
パトロール:Y62



ELGRAND
エルグランド



QUEST
クエスト



NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン

オートワークス京都



CIVILIAN
シビリアン



ATLAS
アトラスF24

グループのご紹介

特長



完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

■LCVを中心とした多車種少量生産の一大拠点(湘南工場)



▶モノコック車



▶フレーム車

■2010年に稼動開始した日産グループの国内“最新鋭工場”
(日産車体九州)



▶ローラーヘミングによるエンジン
フードの生産



▶新塗装技術

■LCVで海外展開事業の基盤を強化



■グループ内での一貫生産により、
高品質な特別仕様車をスピーディに提供



2014年度 連結決算概況

主な2014年度の成果



1. 湘南地区の再編を完了し特長ある工場へと進化(湘南工場)

→ 生産集約によるスリムな体制で小型商用車を中心とした多車種少量生産のフレキシブル生産拠点へと進化

2. フル生産を継続しQCTの安定基盤を確立(日産車体九州)

→ 2年連続でフル生産を達成し、ベンチマーク工場としてグローバル競争に勝ち抜く基盤を確立

3. 品質への取り組み強化

→ Infiniti QX80がJDP-IQSでLarge Premium SUVセグメントでNo.1を獲得

→ Infiniti QX80がコンシューマ・レポートで推奨商品に選定(3年連続)

4. 生産台数拡大への取り組み

→ パトロールシリーズのお客様と直接対話による活動の継続

→ NV350キャラバンの135か国向け生産準備完了による海外市場での新車効果

→ 次世代NV200タクシーの開発と生産準備

2014年度 通期決算

決算サマリー



中東で好調な「Y62パトロール」をはじめとする、
海外向け生産が順調に推移したことなどにより、増収増益

売上台数

輸出向け「Y62パトロール」などの増加により、1.6%増の19.6万台

売上高

売上台数の拡大により0.2%増の4,753億円

営業利益

台数増、合理化等により1.7%増の103億円

当期純利益

湘南工場売却益の計上等により、133.4%増の156億円

設備投資

新車開発や、生産性改善のため投資を中心に55億円

2014年度 通期決算

業績ハイライト

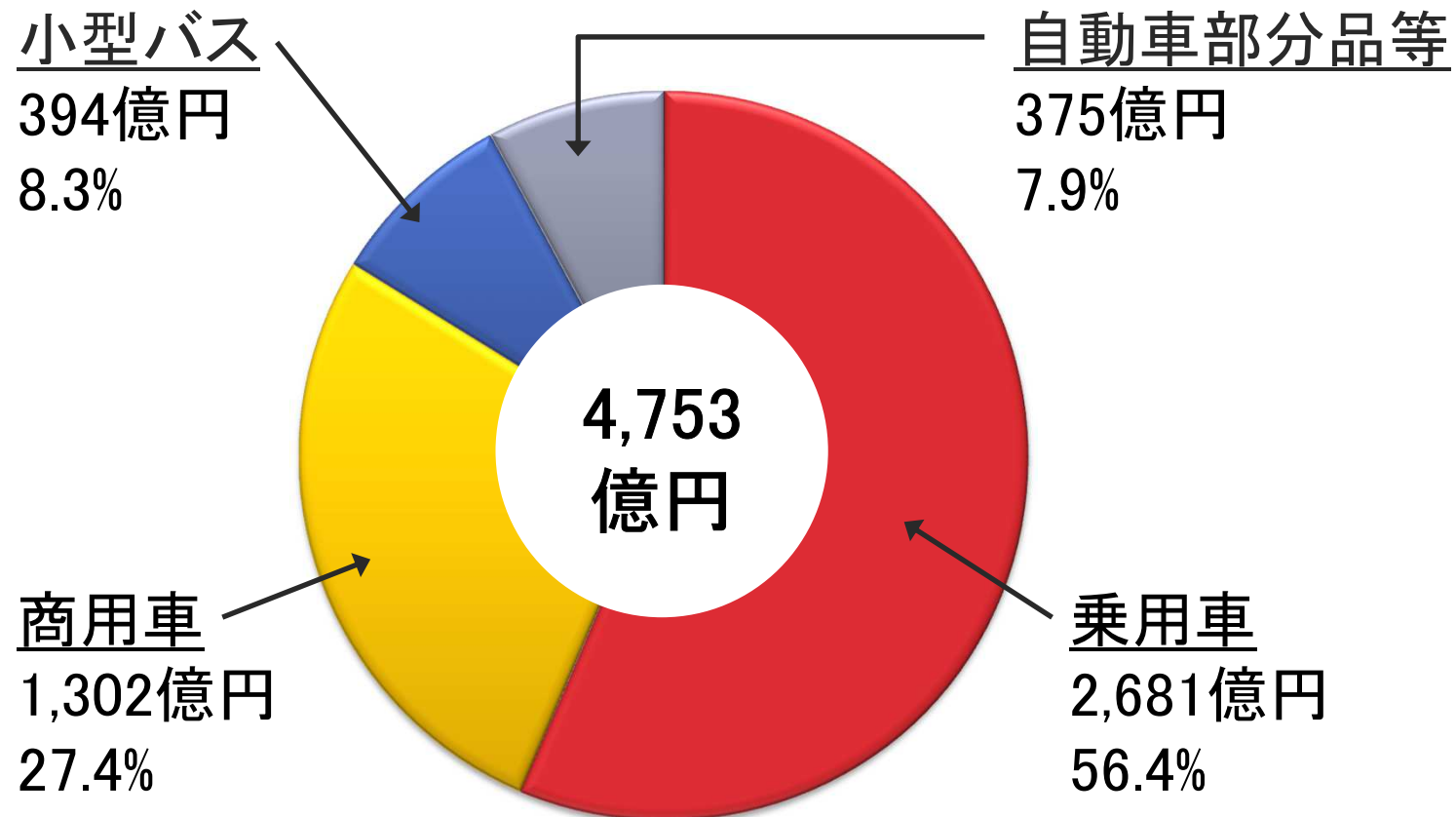


	2013年度 (2014/3)	2014年度 (2015/3)	増減額	増減率
売上高	4,742	4,753	11	0.2%
営業利益	101	103	2	1.7%
経常利益	100	110	10	10.6%
当期純利益	67	156	89	133.4%
売上台数(千台)	193	196	3	1.6%

単位: 億円

2014年度 通期決算

品目別売上高構成比

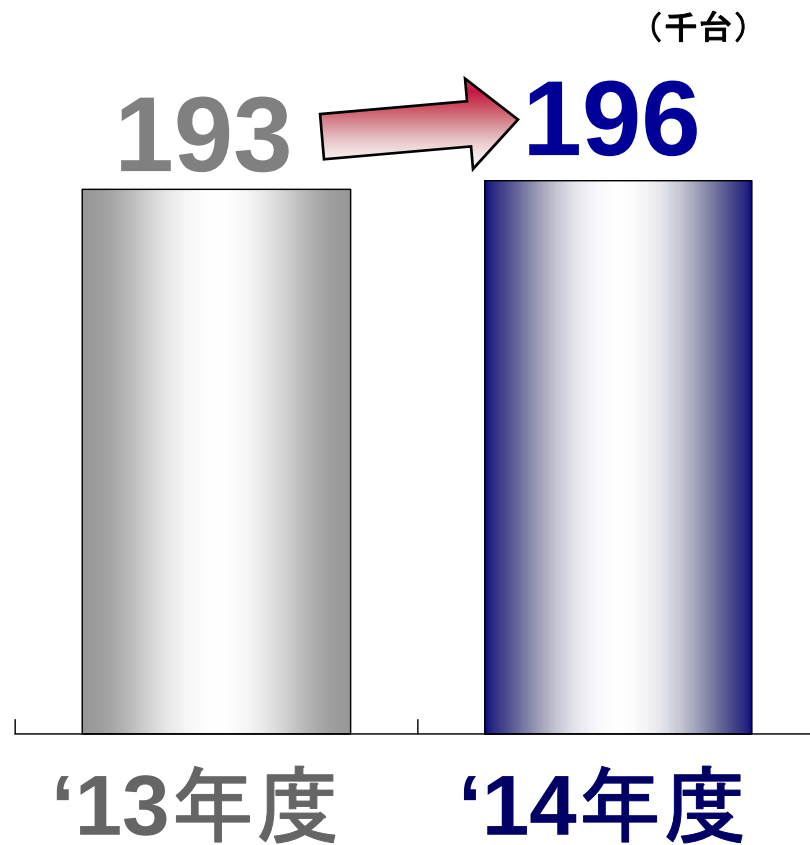


2014年度 通期決算

売上台数



売上台数は前期比1.6%増の196千台



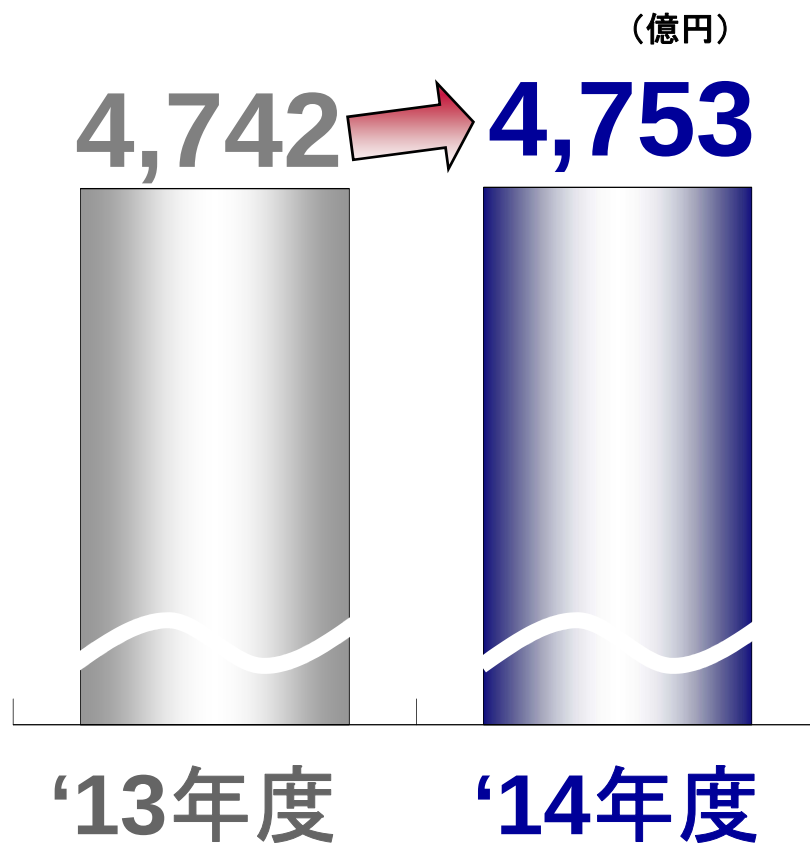
(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	91	91	▲0.3%
商用車	82	85	4.4%
小型バス	20	20	▲1.3%
合計	193	196	1.6%

2014年度 通期決算

売上高

売上高は前年同期比0.2%増の4,753億円



PATROL
パトロール Y62



NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン



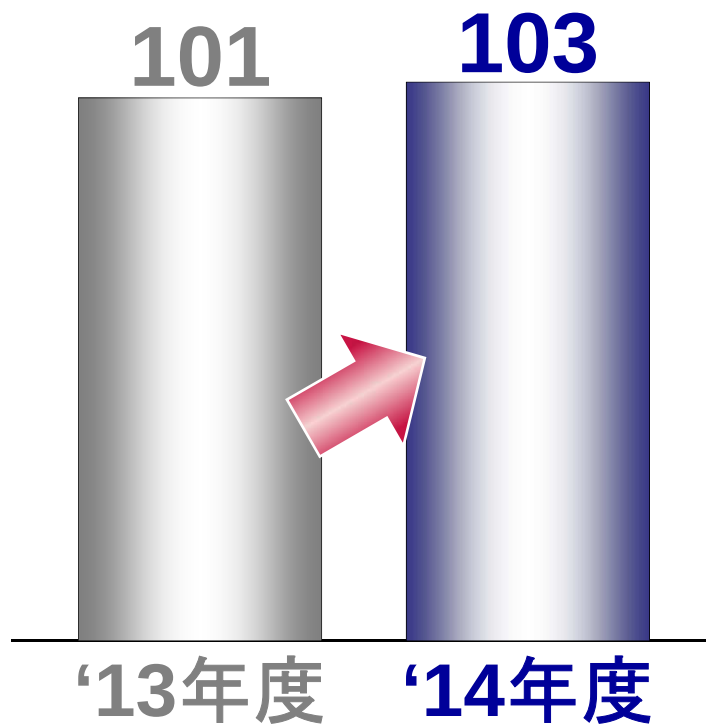
2014年度 通期決算

営業利益／経常利益

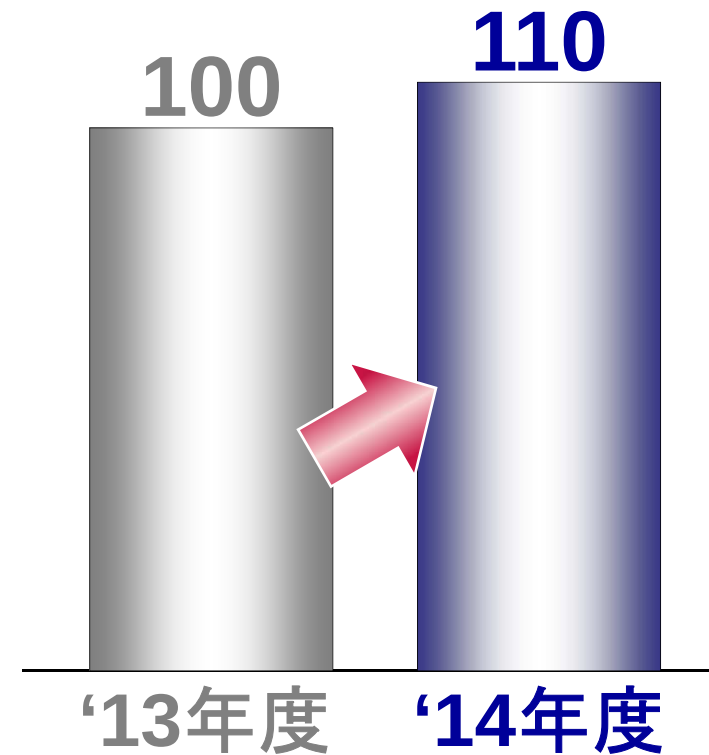


営業利益／経常利益とも前期を上回る

営業利益 (億円)



経常利益 (億円)

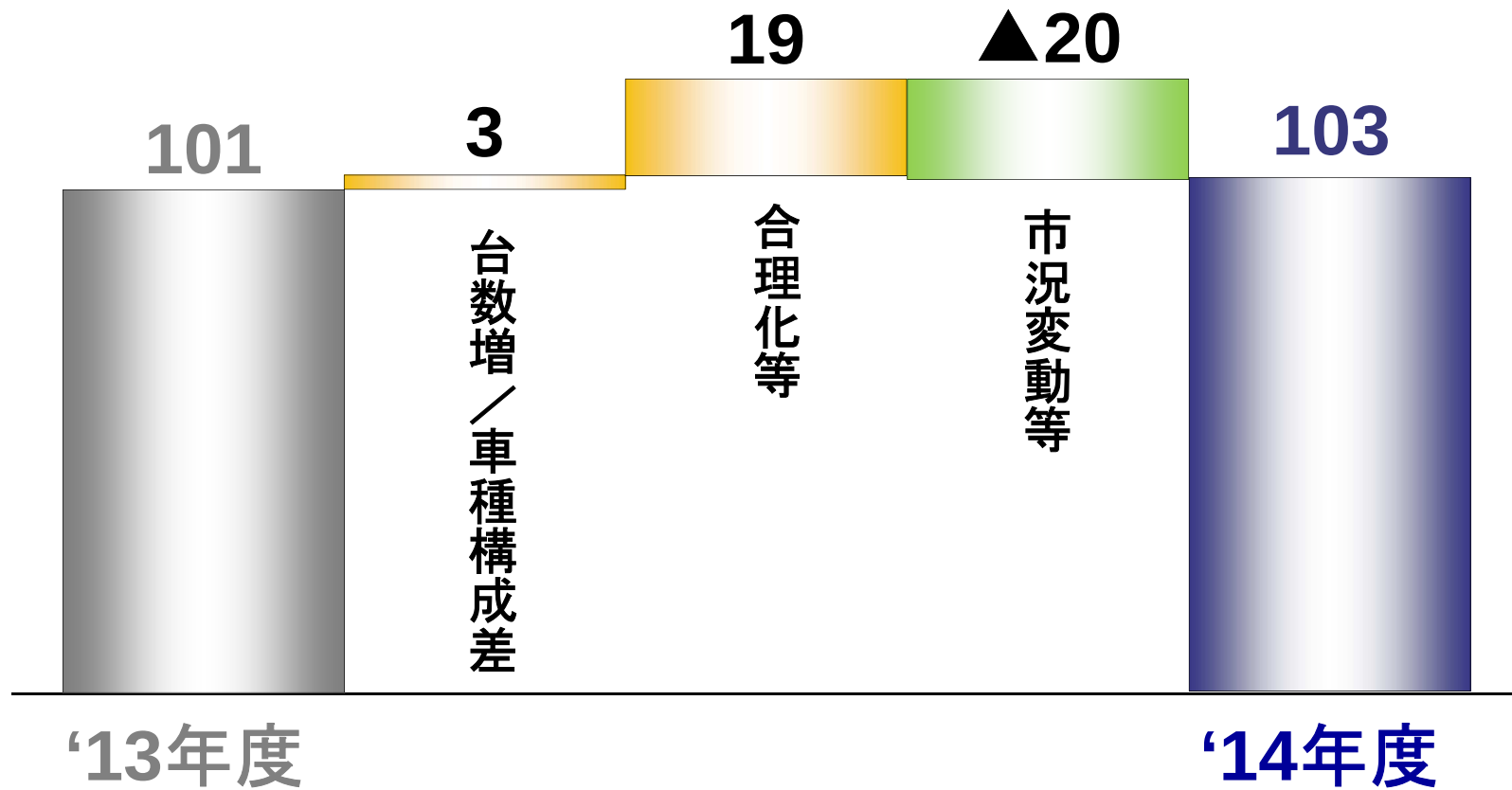


2014年度 通期決算

営業利益の増減要因



(億円)



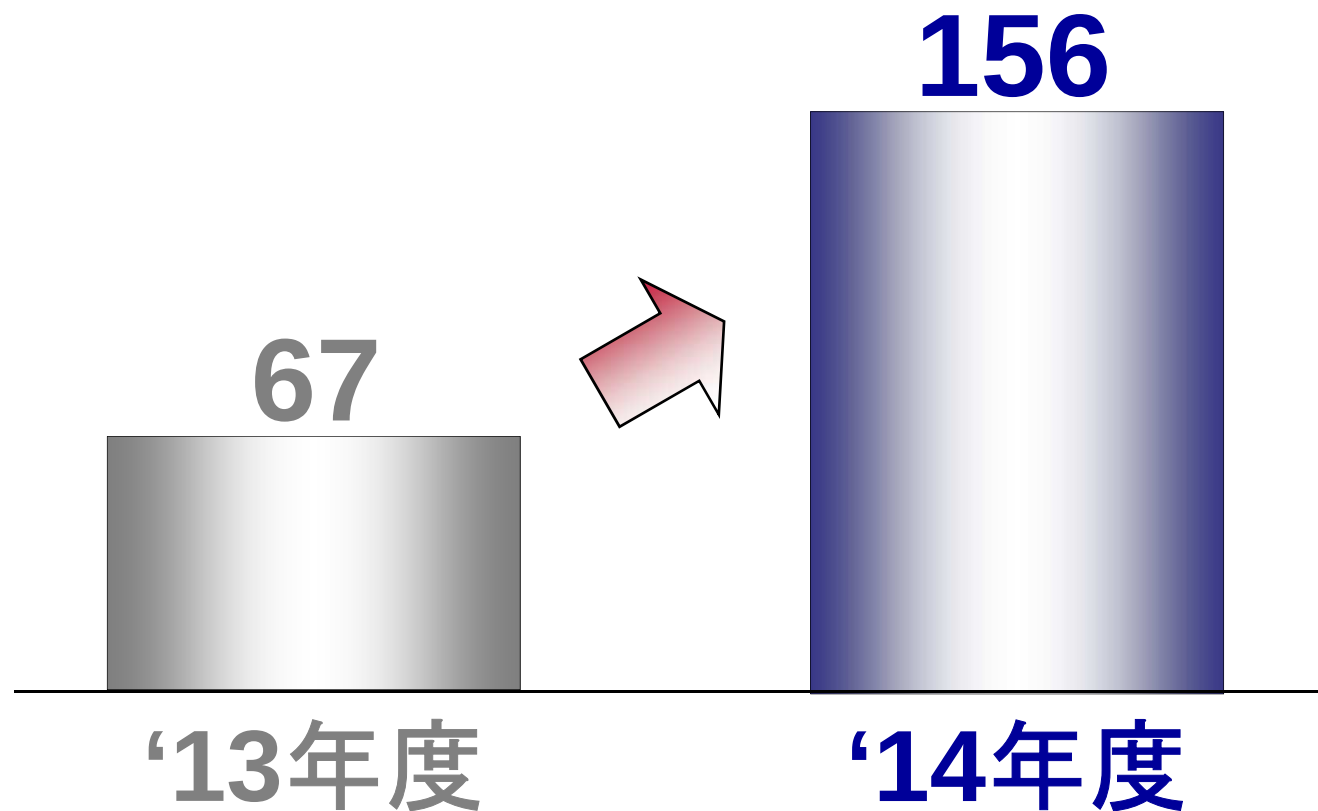
2014年度 通期決算

当期純利益



当期純利益は前期比133.4%増の156億円

(億円)



2015年度 連結業績見通し

2015年度 業績見通し

2015年度の主な取り組み



＜環境変化＞

- 海外生産拠点との競争
- 国内市場の停滞
- 主要新興国での経済成長鈍化

＜主な取り組み＞

日産車体九州

1. フル生産を活かした「コスト競争力の強化」
2. インフィニティ工場としての「ベンチマーク品質の定着」

湘南工場

1. 生産集約を活かした「コスト競争力の強化」
2. 「生産台数拡大」による更なる生産効率の向上
3. 次世代NV200タクシーの確実な生産立ち上げ

2015年度 業績見通し

2015年度の業績予想



営業利益は今期並の103億円の予想。当期純利益については、
今期に計上した湘南工場の売却益がなくなり、同55.9%減の69億円

	2014年度 (実績)	2015年度 (計画)	増減額	増減率
売上高	4,753	4,800	46	1.0%
営業利益	103	103	0	0.0%
経常利益	110	107	▲ 3	▲ 3.5%
当期純利益	156	69	▲ 87	▲ 55.9%

単位:億円

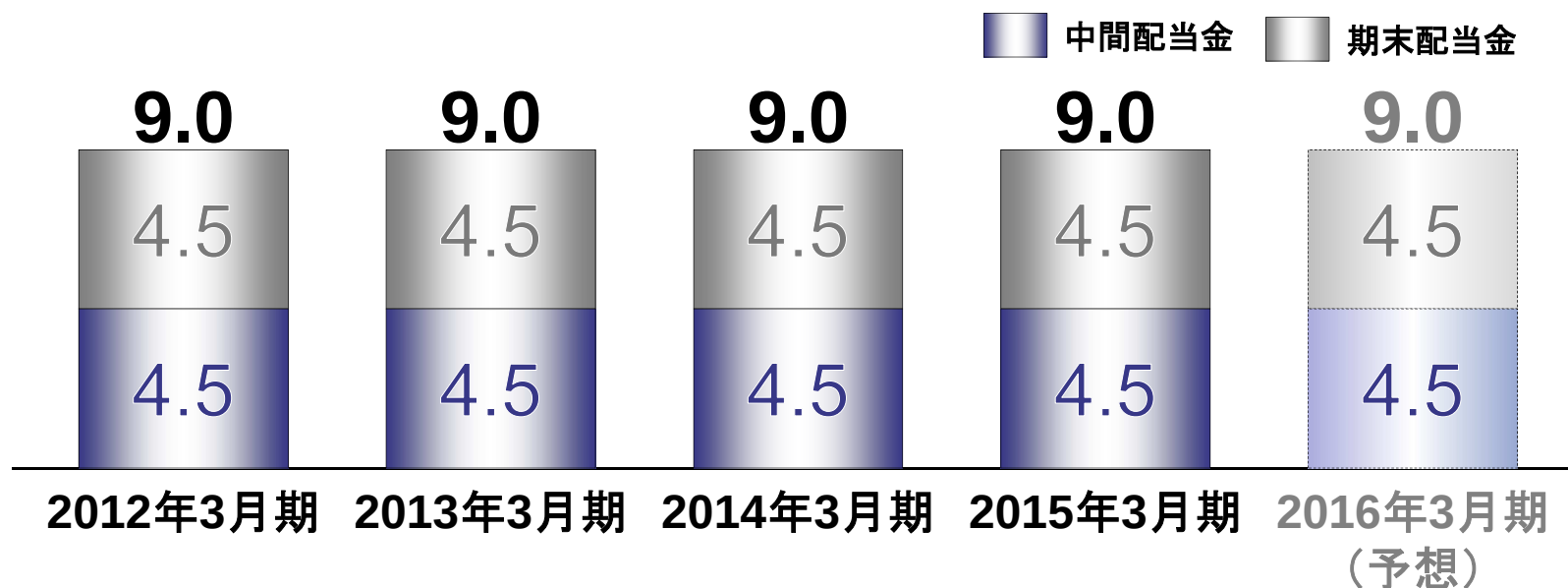
株主還元

株主還元

配当金



持続的成長に向け、継続的な安定配当を実施



■ 株主向け工場見学

毎年、定時株主総会終了後に工場見学を実施し、多車種混流生産ラインなど最新の設備をご案内しています。

株主還元

株主優待制度



当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に
中長期的に当社株式を保有していただけるよう、
株主優待制度を導入

保有株式数	100株以上1,000株未満	1,000株以上
優待内容	オリジナルクオカード 3,000円分 	オリジナルクオカード 5,000円分 

※毎年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします
※毎年6月下旬の発送を予定しております